

PTAに代わる 保護者組織について

南流山第二小学校は、近年の南流山駅南側土地区画整理事業に伴う児童数の増加による教室不足から、南流山小学校の分離新設校として、当時の南流山中学校の校舎を改修のうえ、令和6年度より開校となりました。開校に合わせ、従来のPTA連合会から退会し、保護者の皆さまからのご意見（アンケート）を参考に学校側とも協議を重ね、PTAに代わる新たな保護者組織：『南流山第二小学校サポート部隊（通称：サポ隊）』が、令和6年7月に発足し、今日まで活動・運営をして参りました。

開校から一年を間近に控えたタイミングで、改めてサポ隊についてご紹介いたします。保護者の皆さまにおかれましては、子供たちの安心・安全で楽しく充実した学校生活実現のため、引き続きご協力のほどお願いいたします。

■一般的なPTAとの違い

①役員制度



役員ごとの人数が決まっており、足りなければ指名やくじ引きなどを行う場合もあり、半強制的な側面がある

一般的なPTA

毎年、**希望者を募り事務局を運営するため、強制されることはありません。**事務局の中でやるべきこと・やった方がいいこと、誰が何をやるか？などを話し合って活動します。

※希望者が少ない場合は、その範囲で出来ることを行う形になります
(希望者がいなければ、活動自体が行えないリスクもございます)

※応募者が多すぎる場合は絞らせていただく可能性があります

サポ隊

②活動・手伝い



各家庭で必ず1つは何かをする、いわゆる“一協”を採用している場合が多く、ご家庭の事情とバランスをとる必要がある

一協は採用せず、**都度、手伝いが必要な際は、ボランティアの募集をかけることで、忙しい時には無理をせず、ご家庭の事情に合わせて出来る範囲でのお手伝いをいただく形をとっています。**

※学校行事のお手伝いを通じて、子供たちの学校生活を垣間見ることも出来ます

③運営会議他



毎月、平日昼間に定期的な役員会が開催されることが多く、役員は原則参加必須のため、調整するのが大変

年度ごとに自由に設定いただき、オンラインでの実施も可能ですので、平日日中お仕事の方も参加可能です。会議では、子供のためにやりたいこと・あったら良いことなど学校側へ提案することも出来ます。

※令和6年度は学校との定期会議は年5回（平日）実施、その他やり取りは、LINEWORKSのグループやメールを活用し、必要に応じて、集まれる方が集まれる方法での運営を行いました

④会費



年間2,400円（月200円）をPTA費として徴収
※分離前、令和5年度南流山小学校実績（学校により異なる）

PTA費は廃止し、**子供たちに本当に必要なものに絞り、「児童活動費」として、原則、年間1,000円（児童一人あたり）を、学校から教材費等と併せて集金いたします。**

※児童活動費の詳細については、毎年度初めに学校から送付される「集金のお知らせ」にてご確認いただけます

※物価上昇や、年度の学校行事等により変動する可能性があります
(金額変更は、必ず学校と保護者組織で協議・承認のうえ行います)

※学校から一括してご案内することで、ご家庭の対応負担や事務手間の軽減に努めています

■サポ隊（保護者組織）について

南流山第二小サポ隊は、学校と保護者を繋ぐ役割を担う組織 という位置づけで活動しております。

一般的に保護者組織の活動というと、「学校のお手伝い」という印象を受けがちですが、教育現場に対し保護者の視点で、”子供たちのためになると考えること”を投げかけていく活動という側面もございます。近年、都市開発による学校周辺の交通量増加や、慢性的な教員不足 等により、子供の安心・安全のために”やるべきこと”もあるのは事実ですが、子供の楽しい・良い想い出のために”してあげたいこと”を形にしていく機会もございます。

『出来るときに、出来る範囲で』で構いませんので、より多くの方々のご参加・ご協力ををお願い申し上げます。